

『めぐろのさんま』(落語絵本)

川端 誠(作・絵)

出版社:クレヨンハウス

さんまは秋を代表するおいしいお魚ですが、昔のお侍は「下魚(げうお)」と呼んで食べませんでした。  
がある日、お城暮らしのお殿様がお出かけ中に、農家から流れてくるさんまの焼けるいい匂いに我慢できなくなって無理を言い、食べさせてもらったさんまがおいしいのなんの!お城に帰ってもその味が忘れられなくて、しんせきの家へ行った時に「さんまが食べたい!」とお願いしたが出てきたものは…!?

『おきなぐさ・いちょうの実』

宮沢 賢治(作) たかし たかこ(絵)

出版社:偕成社

澄み切った明け方、お母さんのイチョウの木からいちょうの実のこどもたちが旅立ちます。  
それぞれの思いを抱くこどもたち。みんなどんな気持ちでいるのでしょうか?  
自然を愛した宮沢賢治の世界を味わえる素敵な絵本です。

『指きりは魔法のはじまり(シノダ!シリーズ)』

富安 陽子(作) 大庭 賢哉(絵)

出版社:偕成社

秋の終わりのある日のこと、人間のパパとキツネのママ、そしてキツネ一族の特別な力を持つ3人の子どもたちがいる信田一家の末っ子モエは、不思議な男の子に出会います。破れたネットからこっそり入った先には不思議な色をした池がありました。この場所のことを内緒にすると男の子に指切りげんまんて約束したモエでしたが、つい約束を破ってしまいます。するとモエの口が「カエルの口」に!?…  
大人気シリーズ シノダ!の 10 作目で、なつかしいあの子も登場します。シリーズを読んだことがある人もない人も楽しめる作品です。秋の夜長に読んでみてはいかがでしょうか。

